

秋田で生涯活躍するまちづくり事業における 調査結果について

平成28年6月3日
総合政策課

1 調査の趣旨

秋田版CCRC構想の策定に当たり、次の事項に関する調査を実施した。

- ・首都圏における高齢者等の本県への移住の意向等について
- ・県内の高齢者等の住み替えの意向等について

2 調査結果

(1) 調査対象等

	「首都圏の本県出身の高齢者等を対象とした移住に関する調査」	「県内の高齢者等を対象とした住み替えニーズ等の調査」
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏在住の本県出身の高齢者等(40歳以上) 666人 ・回答者数 259人 ・回答率 38.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内在住の高齢者等(主に40歳以上) 2,100人 ・回答者数 1,153人 ・回答率 54.9%
調査方法	直接または郵送配布、郵送回収	直接配布、郵送回収
調査時期	平成27年11月～12月	

(2) 調査結果の概要

(単位：%)

	「首都圏の本県出身の高齢者等を対象とした移住に関する調査」	「県内の高齢者等を対象とした住み替えニーズ等の調査」
ア CCRCの意味について	<ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった(48.5) ・知っていた(27.3) ・聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった(21.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった(72.9) ・聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった(20.2) ・知っていた(6.1)
イ 移住、住み替えの希望の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・移住の希望はない(72.2) ・分からない(13.9) ・秋田県への移住を検討、希望(12.7) (40、50歳代では40.0) ・秋田県とは別の地域への移住を検討、希望(1.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の住まいに住み続けたい、住み続ける予定(65.4) ・条件が合えば住み替えたい(14.9) ・分からない(14.2) ・住み替えたい、住み替える予定(5.1)
ウ 移住、住み替えを希望する理由(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・故郷への愛着がある(60.6) ・家族や親戚がいる(39.4) ・実家の財産の維持、管理の必要がある(24.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の住まいへの不満(43.5) ・冬季の除排雪が困難(42.1) ・公共交通の利便性が悪い(22.9)

エ 移住、住み替え先に求める条件 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、福祉施設が整備されている(48.5) ・公共交通の利便性が高い(33.3) ・商業施設等が整備され、普段の買い物の利便性が高い(30.3) ・自然が豊かである(30.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性が高い(51.9) ・医療機関、福祉施設が整備されている(50.0) ・商業施設等が整備され、普段の買い物の利便性が高い(47.7) ・都市部ではないが、地域の商店街で日常の買い物ができる(39.7)
オ 移住、住み替えを希望する時期	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない(33.3) ・5年以内(18.2) ・3年以内(15.2) ・10年以上先(15.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない(34.1) ・10年以内(18.7) ・10年以上先(13.6) ・すぐにでも(12.6)
カ 移住、住み替え先で希望する住宅タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・戸建て住宅(36.4) ・サービス付き高齢者向け住宅(27.3) ・分譲マンション(18.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付き高齢者向け住宅(37.5) ・戸建て住宅(34.7) ・賃貸マンション、アパート(16.7)
キ 移住、住み替え後の生活で期待、希望していること (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、福祉の充実(51.5) ・老後の生活への安心感(48.5) ・生活コストの節約(30.3) ・生活の利便性の向上(30.3) ・住まいの住みやすさの向上(30.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の利便性の向上(70.8) ・老後の生活への安心感(66.7) ・医療、福祉の充実(65.3) ・住まいの住みやすさの向上(44.4) ・生活コストの節約(40.3)
ク 移住、住み替え後の生活で参加したい地域交流や活動 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味を通じた交流(51.5) ・地域住民との交流(33.3) ・地域貢献活動や地域ボランティア活動(24.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味を通じた交流(56.9) ・居住する施設の住民同士の交流(48.6) ・地域住民との交流(27.8)

※ 複数回答可の質問

(3) まとめ

- ・ C C R Cについては認知度が低く、特に、県内の高齢者等において認知度が低いことから、周知を図っていく必要がある。
- ・ 今後、首都圏の高齢者が急増することを踏まえると、本県への潜在的な移住希望者は増加するものと考えられることから、高齢者の移住受入れの促進について、検討していく必要がある。
- ・ 首都圏からの移住希望者、県内での住み替え希望者とも、医療機関・福祉施設の整備や、公共交通・買い物の利便性を求めているほか、趣味を通じた交流等を重視していることを踏まえ、秋田版C C R C構想の検討を進めていく必要がある。